

様式 1

<p>研 究 名</p>	<p>AIを活用した生育測定に関する調査研究</p>
<p>民間機関等 (相手方)の名称</p>	<p>株式会社イノベーション農業福祉研究所</p>
<p>研究の概要</p>	<p>太陽光利用型の野菜の育成において、生育に与える環境因子が必ずしも明確に分析されておらず、ものづくり技術を活用した新たな分析方法の確立が望まれている。本研究では、これらの諸問題を解決するために、太陽光利用型植物工場の栽培生育因子と生産収量因子との相関から収量予測と収量向上に関する調査研究を行った。具体的には、太陽光利用型植物工場として、ある品種の栽培を取り上げ、春先から年末までの間に、栽培生育因子を画像などで測定し、栽培生育因子と生産収量因子との相関から収量予測と収量向上に関する調査研究を行った。</p> <p>先行研究の諸問題を検討し、画像データの取得方法を改善した結果、生育因子に関するデータとして、AIにより分析する画像データを効率的、かつ安定的に収集できるようになった。その結果、良好な生育状態や悪影響を及ぼしている因子を抽出するための基盤となる方法として、生育が良好な群と良好でない群に分類する基準や方法を改善することができた。</p>